Panasonic®

取扱説明書

保管用

施工説明付き

住宅用照明器具（ペンダント）

品番 HFD2650,HFD2650N

お客様へ　このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」（1ページ）を必ずお読みください。
この取扱説明書は大切に保管してください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

上手に使って上手に節電

安全上のご注意　お客様へ　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

■異常を感じた場合、速やかに電源を切る

必ず守る

異常状態が収まったことを確認し、販売店または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。

■器具を改造したり、部品交換をしない

分解禁止

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

■布や紙など燃えやすいものをかぶせない

禁止

火災のおそれがあります。

⚠注意

■照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。

必ず守る

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。
●1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。

■本体の取り外しは、販売店・工事店に依頼する

必ず守る

本体の取り外しには資格が必要です。

■温度の高くなるものを器具の真下に置かない

禁止

火災の原因となることがあります。
●器具の真前にストーブなどを置かないでください。

■点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない

接触禁止

守らないと、やけどの原因となることがあります。

工事店様へ　施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様にお渡しください。

施工説明

安全上のご注意　（必ずお守りください）

⚠警告

■器具の取り付けは、説明書に従い確実に行う

必ず守る

取り付けに不備があると、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

■交流100ボルトで使用する

必ず守る

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

■次のような場所には取り付けない

禁止

・指定の傾斜角度を超える場所
・補強のない薄い場所(ベニヤ板、石こうボードなど)
・不安定な場所

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
●この器具は天井面取り付け専用です。

■次のような配線器具には取り付けない

禁止

・欠け・ヒビ割れなど破損しているもの
・がたつくもの
・電源端子露出タイプ

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
●販売店、工事店に配線器具の交換を依頼してください。
（交換には資格が必要です）

⚠注意

■温度の高くなるものの上に取り付けない

禁止

ガス機器やその排気筒の上などに取り付けると、火災の原因になることがあります。

■浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない

水ぬれ禁止

火災、感電の原因となることがあります。
●この器具は防湿、防雨型ではありません。

■調光器と組み合わせて使用しない

禁止

調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると、火災の原因となることがあります。
●調光器の取り外しが必要です。

■付属の梱包材は取り除いて使用する

必ず守る

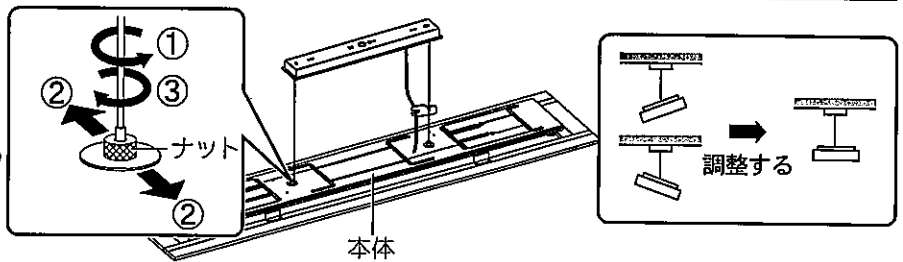
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

使用上のご注意

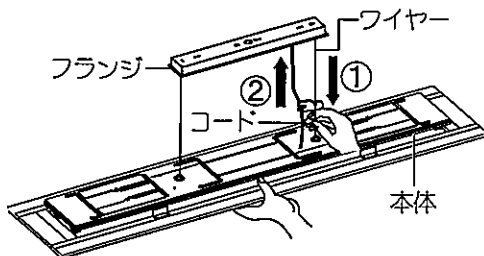
●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮により若干のきしみ音が照明器具から発生することがありますが、異常ではありません。
●電波の弱い場所（山間部、鉄筋建物内など）では、室内アンテナ使用のテレビやラジオに画像の乱れや雑音などが発生することがあります。
●照明器具のきわめて近くでは、他の機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなることがあります。
●蛍光灯はランプに風が当たったり冬場など周囲の温度が低い場合には、明るくなるまでに時間がかかったり、点灯直後にちらつきや移動縞（ムービングストライエーション現象）が発生することがあります。ランプが温まりますと自然に収まりますのでご了承願います。
●非常に短い停電が起こると点灯状態が意図せず切り替わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチ（壁スイッチがない場合はブレーカ）をOFFにしてください。
●天井、壁、床の色や材質により、リモコンの操作距離が短くなることがあります。
●周囲温度が低いと、点灯直後リモコンで切り替わりにくいことがあります。その場合は、しばらくしてから操作してください。
●低誘虫の効果は、蚊、ゴキブリなど、光に誘われない虫には効果がありません。また設置した器具の周囲の光環境によって誘虫効果に差が生じます。

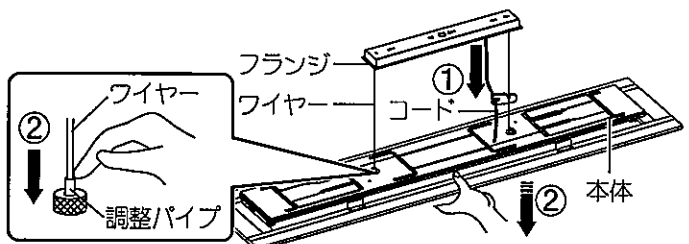
本体の傾き調整について

調整方法

①ナットをゆるめる
②本体が傾いている方向にスライドさせる
③バランスのとれたところでナットをしめる

本体の高さ調整について

本体の高さを上げる場合

①本体を片手で支えながら、ワイヤーを本体内に押し込む
②余ったコードをフランジ内に押し込む

本体の高さを下げる場合

①コードをフランジ内から引き出す
②本体を片手で支えながら、調整パイプを下に押しながら
片手で支えた本体を少しずつ引き下げる
(左右交互に少しずつ引き下げてください)
③余ったコードをフランジ内に押し込む

500mm～3000mmまで調整可能です

⚠注意

■**コードを本体の上にたるませない**
火災、感電の原因になることがあります。
●**本体に触れないように、余ったコードをフランジ内に押し込んでください**

付属部品の確認

施工する前にまず付属部品をご確認ください

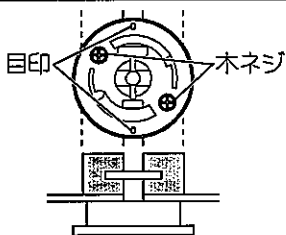
●**本体取り付け用付属部品**

□ 配線器具
(丸型フル引掛シーリング(1個))

□ 引掛シーリング用
木ネジ(2本)

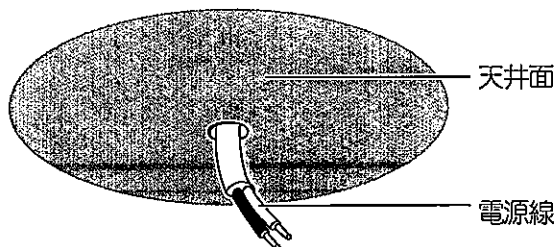
□ 取付板取付用
木ネジ(2本)

□ 電源ブッシング付
電源コード(1本)
〔引掛シーリングキャップ付〕

□ コードクリップ(1個)

●使用しない付属部品は大切に保管してください。引っ越しなどで配線器具が変わったときに必要な場合があります。

取り付け方法を確認する

安全のため、電源を切ってから行ってください

A 直接、電源を接続して取り付ける場合

☞5ページ「各部のなまえと取り付けかた」A へ
(付属の電源コードは使用しません)

B 付属の電源コードを使用して取り付ける場合

取り付けできる配線器具

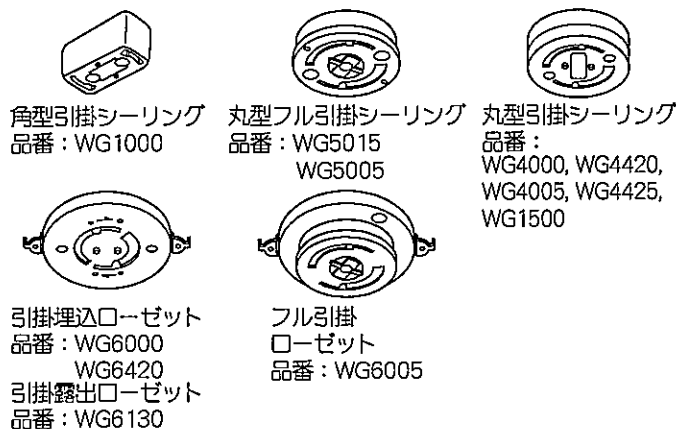
●下記以外の場合は、配線器具の交換が必要です

角型引掛シーリング
品番：WG1000

丸型フル引掛シーリング
品番：WG5015
WG5005

丸型引掛シーリング
品番：
WG4000, WG4420,
WG4005, WG4425,
WG1500

引掛埋込ローゼット
品番：WG6000
WG6420
引掛露出ローゼット
品番：WG6130

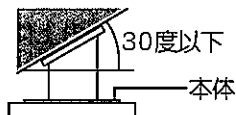
フル引掛
ローゼット
品番：WG6005

☞5ページ「各部のなまえと取り付けかた」B へ

⚠警告

■配線器具が十分な強度で取り付けられていることを確認する
落下によるけがのおそれがあります。
●配線器具ががたつく場合は、配線器具を交換してください。

■配線器具の交換は販売店、工事店に依頼する
感電、落下によるけがのおそれがあります。
●交換には資格が必要です。

傾斜天井に取り付ける際のご注意

●天井の傾斜に対し、右図のように本体を取り付ける場合
30度までの傾斜天井に取り付けることができます。

●天井の傾斜に対し、右図のように本体を取り付ける場合
55度までの傾斜天井に取り付けることができます。

各部のなまえ

リモコン受信器

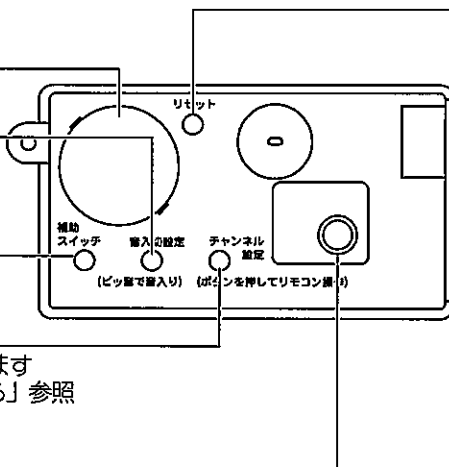
LED

音入切設定スイッチ
押すごとにリモコン操作時の音を入/切します
「ピッ」と音がして「入」、無音で「切」

補助スイッチ
押すごとに全灯/消灯します

チャンネル設定スイッチ
器具のチャンネルを設定する場合に使用します
☞8ページ「器具のチャンネルを変更する」参照

リモコン受信部
リモコンからの信号を受けます
(傷つけたり、汚したりしないでください)

リセット
補助スイッチ
音入切設定
(ピッ音で音入り)
チャンネル設定
(ボタンを押してリモコン操作)

リセットスイッチ
動作が異常の場合に押します。(注)
☞10ページ「故障かな？と思ったら」参照
(注) 点灯時の明るさがお買い上げ時の設定に戻ります。

●器具のチャンネル設定が解除されるため、再度設定する必要があります。

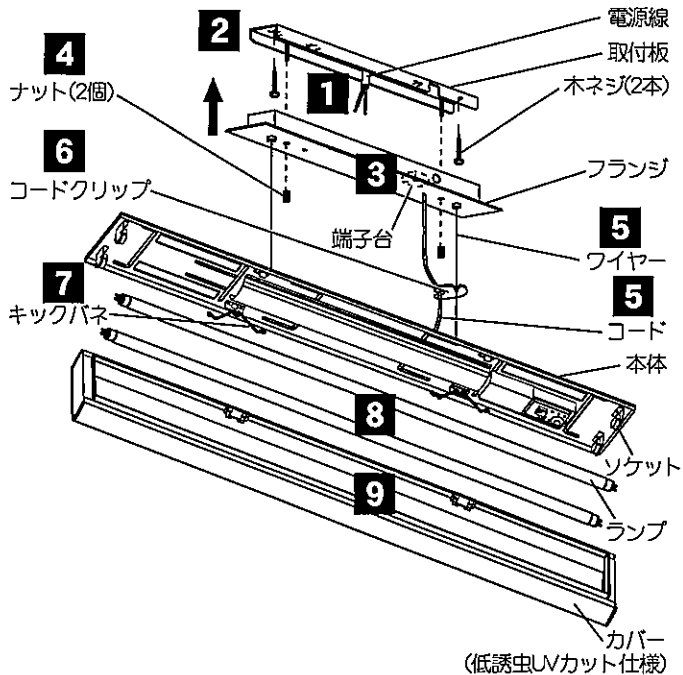
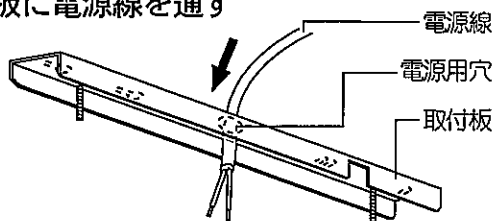
(リモコンで設定する)
①リモコンのチャンネルを希望のチャンネルに合わせる
②器具に向けてリモコンのいずれかの
⇨ボタンを押す
「ピピーッ」と音がして設定完了

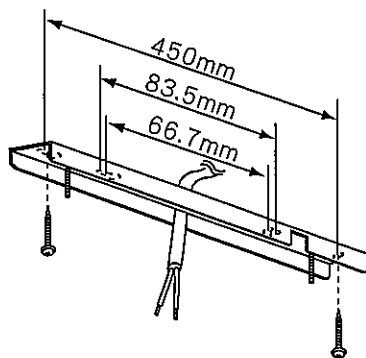
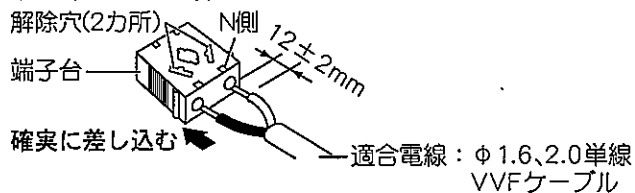
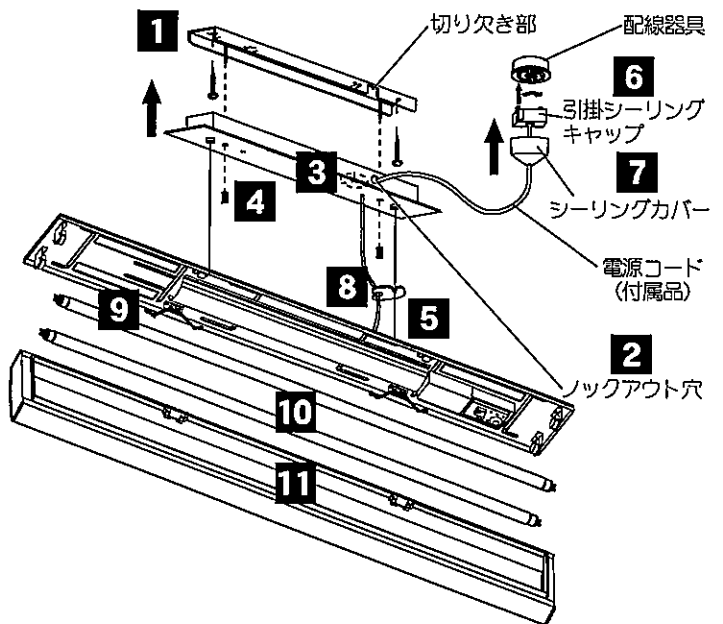
(リモコンがない場合)
補助スイッチを押す
⇨ チャンネル2 (又はⅠ - 2)に設定されます

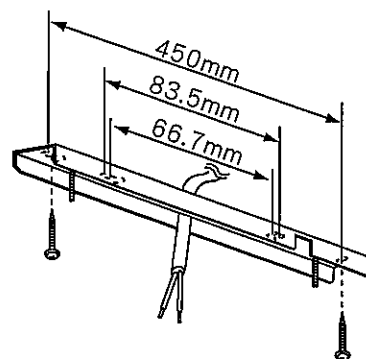
各部のなまえと取り付けかた

安全のため、電源を切ってから行ってください

取り付けの前に
●ランプ(2本)を外す
ランプを90度回して外す
●ワイヤーとコードを束ねた状態(出荷時)からほどく
●取付板とフランジのナットの(2個)を外す

A 直接、電源を接続して取り付ける場合

1 取付板に電源線を通す

2 付属の木ネジ(2本)で取付板を取り付ける

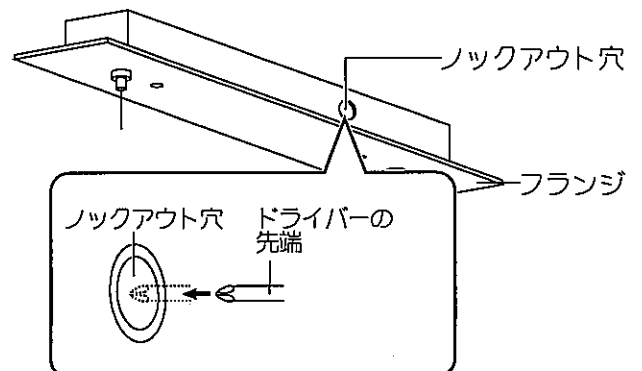
●取り付けピッチ：66.7mm、83.5mm、450mm

3 端子台に電源線を接続する

B 付属の電源コードを使用して取り付ける場合

1 付属の木ネジ(2本)で取付板を取り付ける

●取り付けピッチ：66.7mm、83.5mm、450mm

2 フランジのノックアウト穴を開ける

ドライバー等で、カバーのノックアウト穴を打ち抜く

☞ 6ページにつづく

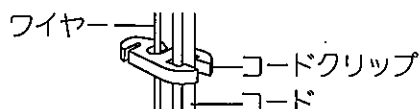
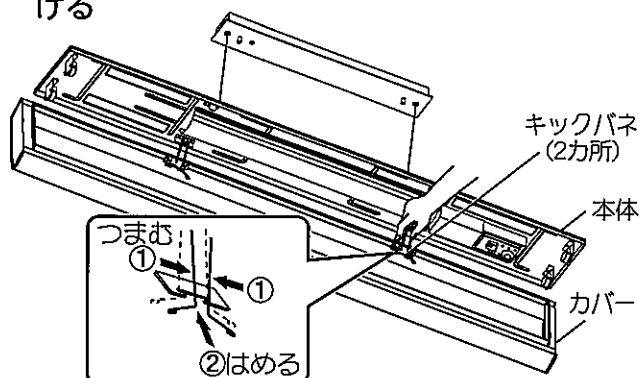
各部のなまえと取り付けかた

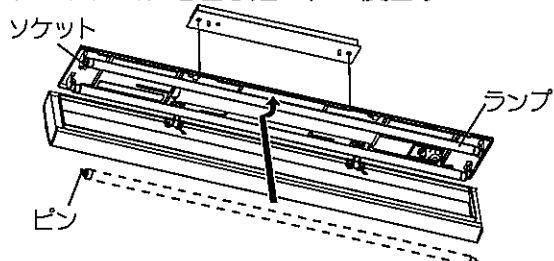
安全のため、電源を切ってから行ってください

A 直接、電源を接続して取り付ける場合

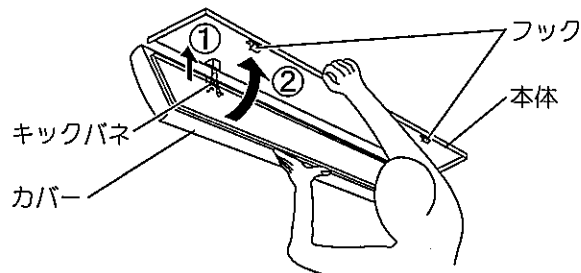
4 ナット(2個)で取付板にフランジを取り付ける

5 ワイヤー、コードの長さを調整する

☞3ページ「本体の高さ調整について」参照

6 コードとワイヤーをコードクリップで束ねる

7 本体のキックバネ(2カ所)をカバーに引っ掛ける

8 ランプを取り付ける

ソケットにピンを差し込み、90度回す

9 カバーを取り付ける

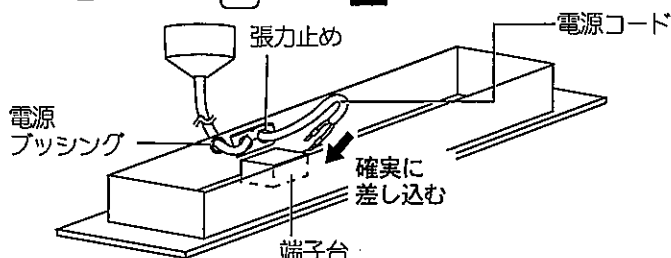
①キックバネ側を押し上げる
②本体を押さえながらフック側(2カ所)を、確実にパチンと音がするまで押し上げる

10 本体の傾きを調整する

本体が傾いている場合は、調整してください

☞3ページ「本体の傾き調整について」参照

B 付属の電源コードを使用して取り付ける場合

3 付属の電源コードを端子台に接続する

①電源コードと張力止めをノック穴に通す
②電源ブッシングをノック穴に取り付ける
③電源コードを端子台に接続する
(☞5ページ A の手順 **3** 参照)

4 ナット(2個)で取付板にフランジを取り付ける

5 ワイヤー、コードの長さを調整する

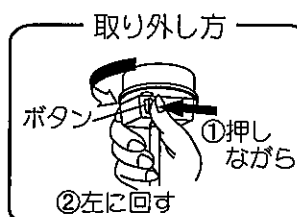
☞3ページ「本体の高さ調整について」参照

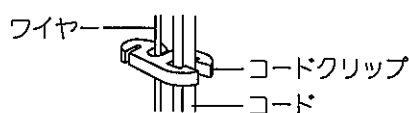
6 引掛けシーリングキャップを取り付ける

止まるまで右に回す

取り外し方

確認

●取り付け後、ボタンを押さずに左に回し、外れないことを確認する。

7 天井面にシーリングカバーを押し上げる

8 コードとワイヤーをコードクリップで束ねる

9 本体のキックバネ(2カ所)をカバーに引っ掛ける

☞左記 A の手順 **7** 参照

10 ランプを取り付ける

ソケットにピンを差し込み、90度回す

☞左記 A の手順 **8** 参照

11 カバーを取り付ける

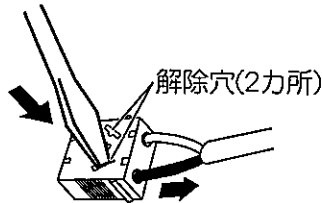
☞左記 A の手順 **9** 参照

12 本体の傾きを調整する

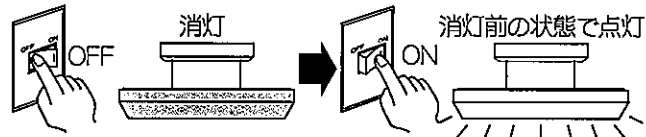
本体が傾いている場合は、調整してください

☞3ページ「本体の傾き調整について」参照

電源線の取り外しについて

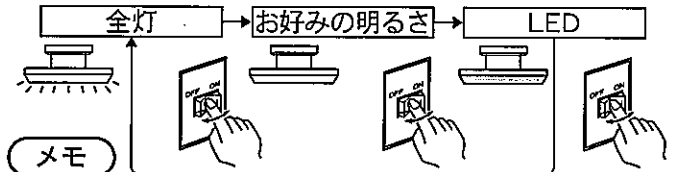
電源線を外す場合は、マイナスドライバーの先端等を解除穴に差し込み、線を引き抜いてください。

壁スイッチで操作する

消灯する・点灯する

●壁スイッチをONすると、消灯前の点灯状態で点灯します。
「お好みの明るさ」点灯状態でOFFすると、次にONしたときは「お好みの明るさ」で点灯、
「LED」点灯状態でOFFすると、次にONしたときは「LED」で点灯します。

メモ

●壁スイッチをONしても点灯しない場合は、壁スイッチを素早く(約2秒以内)OFF→ONするか、リモコンで点灯状態を切り替えてください。
●それぞれの点灯状態は、リモコンにて記憶させた明るさとなります。

点灯状態を切り替える

●壁スイッチを素早く(約2秒以内)OFF→ONすると、点灯状態が切り替わります。

メモ

●それぞれの点灯状態は、リモコンにて記憶させた明るさとなります。
●壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。
●リモコンで消灯した場合、壁スイッチがONのままだと待機電力(1W以下)を消費しています。長時間使わないときには節電のため壁スイッチをOFFにしてください。

リモコンで操作する

壁スイッチを「ON」にして、器具に向けて操作してください

別売のリモコンを使うと、蛍光灯、LEDの明るさを変えることができます。

HK9327K	●蛍光灯、LEDの明るさを変えることができます。 ●蛍光灯、LEDをダイレクトに切り替えることができます。
HK9392K	●タイマーの機能があります。 ●蛍光灯、LEDの明るさを変えることができます。 ●蛍光灯、LEDをダイレクトに切り替えることができます。
HK9323	●タイマー、アラームの機能があります。 ●蛍光灯、LEDの明るさを変えることができます。 ●蛍光灯、LEDをダイレクトに切り替えることができます。

リモコン各部のなまえとはたらき(HK9327Kの使用例)

暗ボタン

蛍光灯、LEDの明るさが変わります。
蛍光灯:100〜約35%の明るさ
LED:6〜1段階の明るさ

明ボタン

蛍光灯、LEDの明るさが変わります。
蛍光灯:約35〜100%の明るさ
LED:1〜6段階の明るさ

メモ

●「お好みボタン」・「LEDボタン」を押した後、「明/暗ボタン」で明るさを変えた場合、その明るさを記憶します。
(☞8ページ「お好みの明るさで点灯させる」参照)

消灯ボタン

消灯します。

チャンネルスイッチ

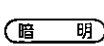
操作したい器具のチャンネル1〜3に合わせて使います。
(お買い上げ時:チャンネル2)
(☞8ページ「器具のチャンネルを変更する」参照)

全灯ボタン

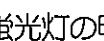
蛍光灯が100%の明るさで点灯します。(注)
(注)押したときの明るさを変えることもできます。
(☞8ページ「全灯ボタンを押したときの明るさを変更する」参照)

お好みボタン

明/暗ボタンで変えた明るさ(調光)で、蛍光灯が点灯します。
(お買い上げ時:約60%の明るさ)

LEDボタン

明/暗ボタンで変えた明るさで、LEDが点灯します。
(お買い上げ時:100%の明るさ)
●このボタンは、太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

お好みの明るさで点灯させる

蛍光灯	1 お好み ○ を押す 2 暗 明 で蛍光灯の明るさを変える	明るさ記憶	以後、再び左記の操作を行うまで お好み ○ を押すたびに、2 で変えた明るさで点灯します。
L E D	1 ☼ ○ を押す 2 暗 明 でLEDの明るさを変える	明るさ記憶	以後、再び左記の操作を行うまで ☼ ○ を押すたびに、2 で変えた明るさで点灯します。

（メモ）●リセットスイッチを押すと、蛍光灯、LEDともお買い上げ時の明るさに戻ります。

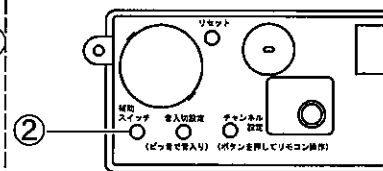
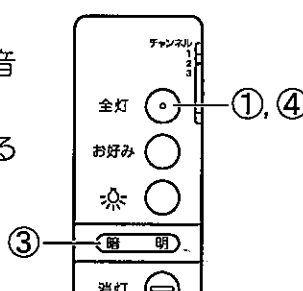
全灯ボタンを押したときの明るさを変更する

全灯ボタンを押したときの蛍光灯の明るさを100％～約35％の範囲で設定することができます。

①リモコンの　全灯 ⊙ を押す

②リモコン受信器の補助スイッチを「ピッ」と音がするまで押し続ける

③リモコンの 暗 明 で蛍光灯の明るさを変える

④リモコンの　全灯 ⊙ を押す
➡「ピピーッ」と音がして変更完了

器具のチャンネルを変更する

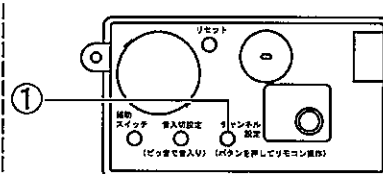
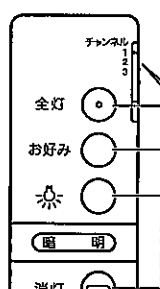
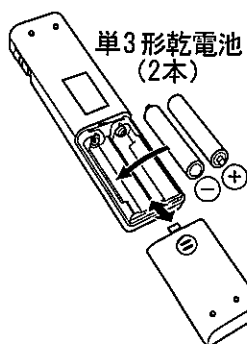
リモコンのチャンネルを変更すると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。

①リモコン受信器のチャンネル設定スイッチを押す

②リモコンのチャンネルスイッチを希望のチャンネルに合わせる（例：チャンネル1）

③リモコンのいずれかのボタンを押す
➡「ピピーッ」と音がして変更完了

（メモ）
●2台以上の器具をご使用の場合、各器具に違うチャンネルを設定しておけば、リモコンのチャンネルスイッチを切り替えて、1台のリモコンでそれぞれの器具を操作できます。
（操作できる台数はリモコンにより異なります）

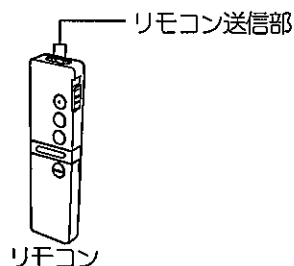
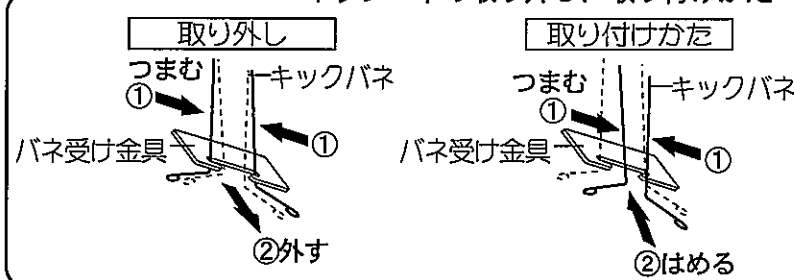
HFD2650-T3C2

電池交換について

電池交換時期の目安

・乾電池は半年を目安に交換してください。

⚠注意	・指定以外のものや新・旧の電池をまぜて使わない。 ・極性表示の通り ⊕⊖ を正しく入れる。 ・使用後、可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしない。 電池の破裂や液もれの原因となることがあります。

お手入れについて

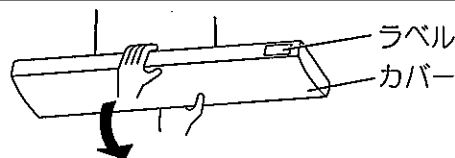
電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

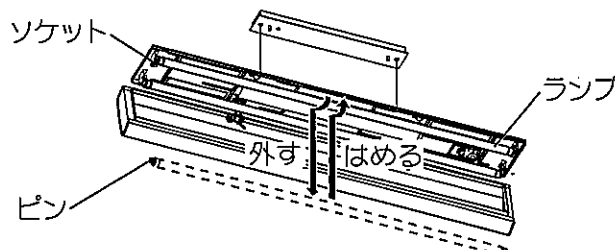
●明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
・汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
●シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。
●カバーのお手入れは、器具から吊り下げたまま行わないでください。
・カバーを外す場合は ☞下記「ランプを交換する」手順 **1** と、下記「キックバネの取り外し、取り付けかた」の 取り外し を参照のうえ、キックバネを取り外してからカバーを外してください。
●リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。
ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。
●電池は半年を目安に取り替えてください。
※付属の電池は、保管状況により性能が落ちることがあります。

ランプを交換する

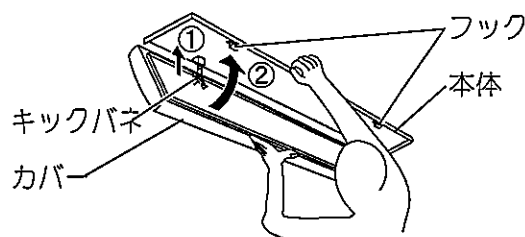
電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●ランプの明るさが低下したり、消灯や点滅を繰り返すとランプの寿命です。
パナソニック製ランプをお求めください。
●種類が同じで光色の異なるランプとは互換性があります。

ランプの種類が表示されています

1 カバーのラベル側を引き下げる

2 ランプを交換する

●取り外し・・・ランプを90度回して外す
●取り付け・・・ソケットにピンを差し込み、90度回す

3 カバーを取り付ける

①キックバネ側を押し上げる
②本体を押さえながらフック側（2カ所）を、確実にパチンと音がするまで押し上げる

故障かな？と思ったら

下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因	処　置
点灯しない	ランプのピンがソケットから外れている	ランプのピンをソケットにはめる
	ランプが切れている	ランプを交換する
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする または、壁スイッチを素早くOFF→ONにする （☞7ページ「壁スイッチで操作する」参照）
リモコンで操作できない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを照明器具と合わせて操作する
本体が傾く	ランプ交換時に本体のバランスがくずれた	本体の傾きを調整する （☞3ページ「本体の傾き調整について」参照）

左記の処置を行っても現象が続く場合

① 電源をいったん切り、再度入れる
② 器具内スイッチのリセットスイッチを押す
③ 器具のチャンネルを変更する
（☞4ページ「リモコン受信器」参照）

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、販売店、工事店、別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。

仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	周波数	消費電力	付属ランプ
AC100V	50/60Hz共用	84W（リモコンOFF時、1W以下）	32形Hf蛍光灯 FHF32EX　2本

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書について

保証期間はお買い上げの日より1年間です。
但し安定器については3年間です。
（ランプ等の消耗品は除きます。）
保証書が必要な場合は、当社代理店または当社営業所へお申し出ください。

※保証の例外　24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打切り後最低6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

修理を依頼されるとき

●保証期間中は
お買い上げ日を特定いただき、お買い上げの販売店まで、品名、品番、お買い上げ日、故障の状況（できるだけ具体的に）、ご住所、お名前、電話番号、修理ご希望日をご連絡ください。
販売店が修理させていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

●アフターサービスについてのご不明な点は
修理に対するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはお近くのパナソニック エコソリューションズ修理ご相談窓口（別紙一覧表ご参照）にお問い合わせください。

パナソニック株式会社　インテリア照明ビジネスユニット
〒571-8686 大阪府門真市門真1048

HFD2650-T3A3　　N0405-051111